

岡田 清香<sub>ヴァイオリン</sub> & 園田 紘子<sub>ピアノ</sub>

# デュオ・リサイタル

2023.2.25 (土) 14時開演  
小田原三の丸ホール 小ホール

# Greetings

音楽は時を越えて人々の心へ届きます。  
何百年も前の時代を生きた作曲家の魂が入った楽譜を、  
現代の私たち演奏家が音にして蘇らせ、皆さまの心へお届けする。

1音たりとも色褪せず、作曲家の感情や息づかいまでもが  
感じられるような素晴らしい名曲を演奏することは、音楽家  
にとって大きな喜びであり、感動です。

そして、これらの珠玉の名曲を皆さまと分かち合える今日  
のこの日を迎えられたことを、心から嬉しく思います。  
ピアニストの園田紘子さんと共演も心待ちにしております。

お越し下さった皆さまが、時を超え現代に蘇った名曲を楽  
しんで頂けたら、音楽家にとってこんなに嬉しいことはござ  
いませぬ。

本日はコンサートへお越しいただき、どうもありがとうございました。

珠玉の名曲達を、どうぞお楽しみ下さいませ。

**ヴァイオリン 岡田 清香**

本日はコンサートにお越しくださり、ありがとうございました。  
地元小田原でコンサートを開かせて頂けること、本当に  
嬉しく思っております。

海山野に恵まれた小田原で育ち、この地でたくさんの出会  
いがありました。今ピアノを演奏できるのも、多くの方々の  
支えと、こうしてコンサートに足を運んでくださる皆さまの  
おかげだと感謝しております。

音楽を演奏するということは、音と自分との繋がり、作品と  
の繋がり、聴いてくださる方々との繋がり、そして今回は  
デュオ・リサイタルなのでヴァイオリンとピアノの繋がりとい  
った、たくさんの繋がりを感じることが出来ます。

それは、便利だけれども繋がりを感じにくくなってしまっ  
た昨今の中で、とても貴重で有難いことだと思っております。  
本日演奏いたします曲目は、もうすぐ訪れる春を心待ちに  
するような、明るいソナタを中心に選曲いたしました。  
一定早く、春の暖かさを感じて頂けたら幸いです。

**ピアノ 園田 紘子**

Rzp LLC主催の最初の演奏会にお越しいただきありがとう  
ございます。本日は早春にふさわしい、明るいヴァイオリン  
ソナタ3曲と、ヴァイオリンの小品2曲をお届けします。

楽器の王様といわれるピアノと、小さい楽器ながら大きな  
美しい音を出すヴァイオリンが競う、アルプス山脈の稜線  
をたどるような、モーツァルト、ベートーヴェン、フランク作  
曲のプログラムです。

ヴァイオリンソナタという言葉からは、ピアノがヴァイオリ  
ンの伴奏を務めているように聞こえますが、3曲ともピアノ  
とヴァイオリンが対等の、西洋音楽の神髄と言えるソナタ  
形式による、プログラムです。

**Rzp LLC代表 磯部 波男**

# Profiles

## 岡田 清香

神奈川県出身。桐朋学園大学附  
属女子高等学校音楽科を卒業後  
渡米し、カーティス音楽院を卒  
業。帰国後、日本センチュリー交  
響楽団に首席第2ヴァイオリン  
奏者として入団する。大阪フィル  
ハーモニー交響楽団、神戸市室  
内管弦楽団、東京都交響楽団、大  
阪交響楽団など、多くを首席奏  
者として客演。また、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団  
の創設メンバーとしてフォアシュピラー（首席奏者）を務  
める。その後渡米し、フォートワース交響楽団を経てサン  
アントニオ交響楽団に入団、18年間在籍。その間ソリスト  
としてサンアントニオ交響楽団と共演し「東日本大震災復  
興支援コンサート」においてもソリストを務め、収益は日本  
赤十字社へ寄付された。その他、エヴィアン音楽祭(フラン  
ス)、ブルーヒル音楽祭(アメリカ)、ニューヨークストリング  
セミナーにてカーネギーホールでコンサート出演。ピオラ  
奏者としても活動する。これまでに青木博幸、小林久子、青  
木敦子、大谷康子、小林健次、ヤッシャ=プロドスキー、ジェ  
イミー=ラレード 各氏に師事。ピオラをジョセフ=デパス  
クワレ氏に師事。現在は箱根に在住し、演奏活動のほか  
後進の指導にも力を入れている。小田原音楽連盟会員。  
2022年箱根を拠点にする「箱根アンサンブル」を発足。箱  
根アンサンブル代表。



## 園田 紘子

小田原市出身。神奈川県立西湘  
高等学校、武蔵野音楽大学音楽  
学部器楽学科卒業、同大学院音  
楽研究科博士前期課程修了。在  
学中、福井直秋記念奨学生に選  
出される。オーストリア・ウィ  
ーンにて5年半研鑽を積み、グラ  
ーツ国立音楽大学ポストグラデュ  
エート課程修了。イタリア、ロベ  
ルタ・ガリナリ国際ピアノコン  
クール特別賞、ドイツ、コッヘ  
ム国際ピアノサマーフェスティ  
バル聴衆賞受賞の他、国内コン  
クールでの受賞多数。小田原  
ジュニア弦楽合奏団と共演。武  
蔵野音楽大学在学中、ソリス  
トオーディションに合格し同大  
学管弦楽団と共演。卒業演奏会  
、大学推薦による日本調律師協  
会新人演奏会、サントリーホー  
ルデビューコンサート2006に  
出演。その他、日本各地やオース  
トリア、ドイツでのコンサート  
に出演。2013年より6回リサイ  
タルを開催。これまでに阿部裕  
紀子、竹内典子、福井直昭、リ  
サ・スミルノヴァ、池場文美の  
各氏に師事。現在、ソロや伴奏  
者としてさまざまな演奏活動  
を行なっている。日本演奏連盟  
、県央音楽家協会会員。小田  
原短期大学非常勤講師。



## Rzp LLC (Rzp 合同会社)

2021.8月設立の演奏会制作会社。

e-mail : ryozanpaku703@icloud.com

web : <https://www.rzp703.com>

# Program

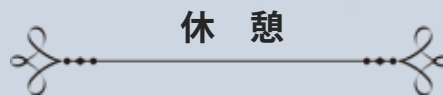
岡田 清香 (ヴァイオリン)  
園田 紘子 (ピアノ)

モーツァルト  
ヴァイオリンソナタ 第18番 ト長調 K301

第1楽章 アレグロ・コン・スピリト  
第2楽章 アレグロ

ベートーヴェン  
ヴァイオリンソナタ 第5番 ヘ長調 Op24 「春」

第1楽章 アレグロ  
第2楽章 アダージョ・モルト・エスプレッシーヴォ  
第3楽章 スケルツォ:アレグロ・モルト  
第4楽章 ロンド:アレグロ・マ・ノン・トロツポ



エルガー  
愛の挨拶

クライスラー  
プレリュードとアレグロ

フランク  
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調

第1楽章 アレグレット・ベン・モデラート  
第2楽章 アレグロ  
第3楽章 幻想的な叙唱:ベン・モデラート  
第4楽章 アレグレット・ポコ・モツ

# Program Notes

## モーツァルト ヴァイオリンソナタ 第18番 ト長調 K301

モーツァルトが生涯に何度も旅をしたことはよく知られています。旅することに楽想が花開きますが、このヴァイオリンソナタは(故郷ザルツブルクを飛び出してウィーンに定住した1781年のひとつ前の時代)1777年のマンハイム〜パリ旅行の際の作品で、それまでのヴァイオリンソナタと異なり、ピアノとヴァイオリンが協奏する、二重奏ソナタとなっています。

## ベートーヴェン ヴァイオリンソナタ第5番 ヘ長調 Op24

ベートーヴェンの作品は、ハイドン・モーツァルトの影響下にある初期の作品、「傑作の森(ロマン・ロラン)」と呼ばれる中期の作品、第九に代表される後期の作品に分けられます。「スプリング(春)ソナタ」の愛称で親しまれるヴァイオリンソナタ第5番作品24は、初期に属しますが、明らかにハイドン・モーツァルトの影響から抜け出た、ベートーヴェンらしい作品ですが、多くの彼の作品に見られる力強さよりは、優しく流麗さが優る音楽で、「春」と呼ばれるのにふさわしい曲です。

## エルガー 愛の挨拶

行進曲「威風堂々」で有名なイギリスの作曲家エルガーが無名の作曲家時代に、ピアノの生徒で年上の婚約者アリスとの結婚記念に贈った曲。アリスとの婚約には階級、宗教、年齢などの障害が立ちはだかりましたが、それを乗り越えた記念の曲です。

## クライスラー プレリユードとアレグロ

クライスラーは歴史的な名ヴァイオリニストで優秀な作曲家でもありました。それが故反感を買うこともあり、自身の作曲を「過去の作曲家の作品を『再発見』した」と発表し、演奏をする事もありました。「プレリユードとアレグロ」はそれらの作品の一つです。プレリユード部分は堂々としながらも哀愁を帯び、アレグロ部分ではヴァイオリンの華やかなテクニクと共に壮大なクライマックスを迎えます。

## フランク ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調

フランクの前半生は教育者、オルガン奏者としての活動が勝り、作曲家としては60歳過ぎに、代表作ヴァイオリンソナタ、弦楽四重奏、交響曲を一曲ずつ作曲しました。これらは、フランクを慕って集まった弟子達への究極のお手本として作曲されたものです。「沢山書く必要はない。よく考えて、良いメロディーを書くように。」とはフランクの言葉です。

形式的には循環形式を多用し、前半の楽章で登場した主題の一部や全体が、後半の楽章で再現されることで曲全体の統一が図られます。ヴァイオリンソナタの第4楽章は「かえるの歌」のようにカノン風となっており、最後はストレットと呼ばれる、追いかけるタイミングが早くなって推進力が生まれ、高揚して終わります。

フランクは友人の勧めで、この曲をベルギーのヴァイオリニスト、イザイに結婚式の贈り物として贈呈しました。イザイはその場で演奏し、「これは私だけへの物ではなく、全世界への贈り物だ。私の役目はこの曲の素晴らしさを伝えることです。」として自ら世界中で演奏し、最も人気のあるヴァイオリンソナタとなりました。

NHKらららクラシック「未来への贈り物」  
(2014.8.30放送)より引用

Rzp LLC主催 次回演奏会  
2023.11.18(土)

かなじあみ

金持亜実 ソプラノ・リサイタル  
小田原三の丸ホール小ホール